



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 平成28年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	71,298	△7.8	6,465	△9.9	6,822	△9.1	4,191	△14.0
28年3月期第2四半期	77,341	15.0	7,173	38.0	7,509	33.4	4,873	36.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △766百万円(—%) 28年3月期第2四半期 3,974百万円(8.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	36	83	36	68
28年3月期第2四半期	42	88	42	70

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	167,895		109,509		64.7	
28年3月期	179,573		111,271		61.4	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 108,559百万円 28年3月期 110,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	
29年3月期	—	10.00				
29年3月期(予想)			—	11.00	21.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	150,500	△9.9	13,100	△16.5	13,400	△12.6	7,500	△17.6	65	88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期2Q	117,936,284株	28年3月期	117,929,250株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	4,098,166株	28年3月期	4,187,266株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期2Q	113,792,632株	28年3月期2Q	113,634,884株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 自己株式数には、従業員持株E S O P信託の保有する当社株式数（期末自己株式数 29年3月期2Q 79,500株、28年3月期 168,600株）が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとする世界経済の減速懸念、英国のEU離脱問題など、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は712億9千8百万円（前年同期比 7.8%減）となりました。日本において競争激化が続いていることや天候不順の影響、さらにリベート形態の見直しに伴う医薬品の出荷価格の引下げなどが影響しております。また、海外におきましても円高による為替換算の影響に加え、アジアでは中国経済の減速による減収が大きく影響しました。

利益面につきましては、減収となったことに加え、新規分野への先行投資が継続していることにより、営業利益は64億6千5百万円（同 9.9%減）、経常利益は68億2千2百万円（同 9.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億9千1百万円（同 14.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (日本)

外部顧客への売上高は、469億9千4百万円（前年同期比 2.0%減）となりました。

主力のスキンケア関連品は、中高年用目薬やコンタクトレンズ関連が堅調であったものの、スキンケア関連品及び内服・食品関連品が伸び悩みました。特に、主力の「肌ラボ」シリーズが減収となりました。また、厳しい残暑の影響により店頭の商品展開の変更時期がずれていることもあり、秋冬もののスキンケア関連品の出荷が遅れております。一方、男性用デオドラントブランド「デ・オウ」が好調に推移していることに加え「メラノCC 薬用しみ集中対策美容液」などインバウンド需要に伴う売上も順調でありました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、研究開発費など新規分野への先行投資があるものの、その他の販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、49億2千7百万円（同 0.0%増）と増益を確保いたしました。

#### (アメリカ)

外部顧客への売上高は、30億9千6百万円（前年同期比 14.3%減）となりました。

円高による為替換算の影響に加え、主力のリップクリームや競争激化が続く「オキシシー」が伸び悩みました。一方、目薬については堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、4億8千1百万円の損失（前年同期のセグメント損失は6億9千3百万円）と改善しました。

#### (ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、36億3千8百万円（前年同期比 15.3%減）となりました。

ヨーロッパにおきましては、消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズが堅調に推移したことや一昨年に取得したダクス・コスメティクス社が順調であったことにより、現地通貨ベースでは増収を確保いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、2億7千7百万円（同 20.9%減）となりました。

#### (アジア)

外部顧客への売上高は、165億9千5百万円（前年同期比 18.7%減）となりました。

ベトナムやインドネシアなどは好調に推移しているものの、中国において経済環境の悪化や競争激化により減収となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたものの、売上が伸び悩んだことにより、16億1千5百万円（同 31.9%減）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、9億7千3百万円（前年同期比 7.4%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、5千2百万円（同 40.5%減）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は1,678億9千5百万円となり、前連結会計年度末より116億7千7百万円減少いたしました。これは、投資有価証券が17億7千2百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が78億5千9百万円、現金及び預金が45億6千9百万円、電子記録債権が14億1千4百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債総額は583億8千6百万円となり、前連結会計年度末より99億1千5百万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が9億8千5百万円増加した一方、未払費用が79億4千1百万円、未払法人税等が18億9千1百万円、返品調整引当金が5億9百万円、短期借入金が4億8千1百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,095億9百万円となり、前連結会計年度末より17億6千2百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が30億5千2百万円増加した一方、為替換算調整勘定が49億3千1百万円減少したこと等によるものであります。

### ②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ44億1千2百万円減少し、180億8千3百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、35億2千4百万円と前年同期に比べ19億6千8百万円減少しました。これは、税金等調整前四半期純利益が61億2千3百万円あり、キャッシュ・フローの増加要因である売上債権の減少額が68億9千6百万円、減価償却費が26億6千2百万円、仕入債務の増加額が18億1千1百万円あった一方、キャッシュ・フローの減少要因である未払費用の減少額が64億1千9百万円、法人税等の支払額が36億7千5百万円、たな卸資産の増加額が34億6千6百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、46億7千9百万円と前年同期に比べ31億4千3百万円増加しました。これは、投資有価証券の取得による支出が26億7千万円、有形固定資産の取得による支出が16億1千7百万円、長期貸付けによる支出が6億7千4百万円あり、定期預金の払戻による収入が5億1千2百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、14億7千4百万円と前年同期に比べ14億6千6百万円減少しました。これは、配当金の支払額が11億3千9百万円、長期借入金の返済による支出が3億7千8百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

[平成29年3月期 通期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	163,000	15,500	15,200	9,500	83.47
今回修正予想(B)	150,500	13,100	13,400	7,500	65.88
増減額(B-A)	△12,500	△2,400	△1,800	△2,000	—
増減率(%)	△7.7	△15.5	△11.8	△21.1	—

当第2四半期連結累計期間の実績、円高の影響、及び国内外の市場環境の変化を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました通期連結業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、通期の連結業績予想に用いた為替レートは〔105円＝1USドル〕と前回公表時〔110円＝1USドル〕から変更しております。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,073	18,504
受取手形及び売掛金	37,327	29,467
電子記録債権	11,654	10,240
商品及び製品	13,241	14,904
仕掛品	2,260	2,715
原材料及び貯蔵品	7,534	7,785
その他	6,817	7,776
貸倒引当金	△157	△287
流動資産合計	101,752	91,106
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,322	20,577
その他（純額）	26,717	25,338
有形固定資産合計	48,040	45,916
無形固定資産		
のれん	1,130	892
その他	2,372	1,972
無形固定資産合計	3,502	2,865
投資その他の資産		
投資有価証券	21,405	23,178
その他	6,558	6,780
貸倒引当金	△1,686	△1,951
投資その他の資産合計	26,277	28,007
固定資産合計	77,821	76,788
資産合計	179,573	167,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,796	10,781
電子記録債務	2,559	2,703
短期借入金	4,452	3,971
未払費用	27,280	19,338
未払法人税等	3,645	1,753
賞与引当金	2,064	2,047
役員賞与引当金	30	15
返品調整引当金	1,239	730
売上割戻引当金	2,290	2,200
その他	5,999	6,412
流動負債合計	59,357	49,953



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	994	936
退職給付に係る負債	5,381	5,029
その他	2,568	2,467
<b>固定負債合計</b>	<b>8,944</b>	<b>8,433</b>
負債合計	68,301	58,386
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	6,411	6,415
資本剰余金	5,738	5,742
利益剰余金	98,675	101,727
自己株式	△5,207	△5,063
<b>株主資本合計</b>	<b>105,618</b>	<b>108,822</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>5,438</b>	<b>5,334</b>
為替換算調整勘定	1,296	△3,635
退職給付に係る調整累計額	△2,113	△1,962
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>4,621</b>	<b>△263</b>
<b>新株予約権</b>	<b>568</b>	<b>560</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>462</b>	<b>389</b>
<b>純資産合計</b>	<b>111,271</b>	<b>109,509</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>179,573</b>	<b>167,895</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	77,341	71,298
売上原価	31,803	29,787
売上総利益	45,538	41,511
返品調整引当金繰入額	60	—
返品調整引当金戻入額	—	20
差引売上総利益	45,478	41,531
販売費及び一般管理費	38,304	35,065
営業利益	7,173	6,465
営業外収益		
受取利息	145	97
受取配当金	261	359
持分法による投資利益	36	—
その他	134	198
営業外収益合計	578	655
営業外費用		
支払利息	88	66
持分法による投資損失	—	168
為替差損	69	23
その他	85	38
営業外費用合計	242	297
経常利益	7,509	6,822
特別利益		
投資有価証券売却益	91	—
特別利益合計	91	—
特別損失		
投資有価証券評価損	175	329
関係会社株式評価損	56	6
貸倒引当金繰入額	100	360
関係会社貸倒引当金繰入額	38	3
特別損失合計	369	698
税金等調整前四半期純利益	7,231	6,123
法人税等	2,362	1,939
四半期純利益	4,869	4,184
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,873	4,191

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	4,869	4,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△812	△96
為替換算調整勘定	△147	△4,754
退職給付に係る調整額	43	150
持分法適用会社に対する持分相当額	21	△251
その他の包括利益合計	△894	△4,951
四半期包括利益	3,974	△766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,975	△693
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△73

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,231	6,123
減価償却費	3,072	2,662
のれん償却額	159	178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	80
賞与引当金の増減額(△は減少)	160	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	60	△199
返品調整引当金の増減額(△は減少)	60	△509
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	240	△90
貸倒引当金繰入額	100	360
関係会社貸倒引当金繰入額	38	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△91	—
投資有価証券評価損益(△は益)	175	329
関係会社株式評価損	56	6
受取利息及び受取配当金	△407	△456
支払利息	88	66
持分法による投資損益(△は益)	△36	168
売上債権の増減額(△は増加)	△1,518	6,896
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,535	△3,466
仕入債務の増減額(△は減少)	4,068	1,811
未払費用の増減額(△は減少)	△3,683	△6,419
その他	△1,191	△777
小計	6,104	6,758
利息及び配当金の受取額	368	466
利息の支払額	△86	△47
法人税等の支払額	△1,306	△3,675
法人税等の還付額	413	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,493	3,524
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△458	△433
定期預金の払戻による収入	630	512
有形固定資産の取得による支出	△2,284	△1,617
無形固定資産の取得による支出	△89	△93
投資有価証券の取得による支出	△1,210	△2,670
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,124	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	0	189
長期貸付けによる支出	△213	△674
その他	△34	107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,535	△4,679

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,821	△130
長期借入れによる収入	550	50
長期借入金の返済による支出	△720	△378
配当金の支払額	△1,139	△1,139
非支配株主からの払込みによる収入	77	—
その他	112	123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,940	△1,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	99	△1,783
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,116	△4,412
現金及び現金同等物の期首残高	25,093	22,495
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,209	18,083

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	47,957	3,612	4,298	20,422	76,290	1,051	77,341	—	77,341
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	803	661	2	1,569	3,037	8	3,045	△3,045	—
計	48,760	4,274	4,300	21,991	79,327	1,059	80,387	△3,045	77,341
セグメント利益 又は損失(△)	4,926	△693	351	2,373	6,958	88	7,046	126	7,173

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額126百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	46,994	3,096	3,638	16,595	70,324	973	71,298	—	71,298
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,083	613	0	1,518	3,217	20	3,238	△3,238	—
計	48,077	3,710	3,639	18,114	73,542	994	74,536	△3,238	71,298
セグメント利益 又は損失(△)	4,927	△481	277	1,615	6,339	52	6,391	73	6,465

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額73百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。